



港南防災ネットワーク便り

2020年11月号



「避難所受付訓練」を行いました

—港区主催—

令和2年11月8日（日）、例年は「港区総合防災訓練」が開催される時期ではありますが、今年は新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、開催は中止となりました。

新型コロナウイルス感染症は依然として収束する見込みがたっておらず、このような状況の下で災害が発生し、避難所を開設した場合には、クラスターによる爆発的な感染拡大が起こるおそれがあります。

やらなければならない課題は山積していますが、まずは新型コロナウイルス感染症に対応した「避難所受付訓練」を港区防災課、芝浦港南支所協働推進課よりご指導いただきました。また、合わせて防災アドバイザー三平先生による講演と訓練の講評もいただきました。

加盟団体および協力団体の皆様には、感染予防のため各団体1名のご参加をお願いいたしました。ご理解とご協力に感謝申し上げます。



まずは参加者が検温、手の消毒、名簿記入



感染予防対策のガウンを着用

一般スペース
(部屋)

避難者



一般受付

*チェックシート回収
「一般スペース」へ案内

専用スペース
(部屋) ※

避難者



専用受付

*チェックシート回収
「専用スペース」へ案内

検温者

受付者

事前問診受付



*非接触体温計で検温し
チェックシート確認後
どちらかの受付へ移動
(チェックシートは持参)

避難者

問診票記帳代

避難者

避難者

避難者

避難者

*手の消毒をし問診票を記入します



*換気の良いピロティに1mの
間隔をあけて並びます



*自分で移動できるよう案内表示
などで工夫します

※「専用スペース」は大部屋ではなく
発熱者、濃厚接触者、自宅療養者暫定
スペースなど細かくスペースを分けて
準備します



港区防災課より避難所の感染症対策についてのお話を伺いました



一般避難者スペース（縦2m×横2m）



間仕切りパネルを使用した避難スペース



<講演講師>

一般社団法人地域防災支援協会
代表理事 三平 洵氏

慶応義塾大学院政策・メディア研究科修士修了。東京工業大学グローバルCOE研究員（RA）などを経て、2007年イオタ入社。ニンテンドーDS「地震DS72時間」開発プロデューサーを務める。2012年から代表取締役。また2014年に一般社団法人地域防災支援協会を設立し、代表理事に就任。東京都総合防災部や生活文化局主催の講習会で講師を務めるなど、地域活動や防災対策にも精通されています。



感染症対策について
参加者からは熱心に
質問の声が上がって
いました



<お知らせ>

「東京防災」では「東京都防災模試」を実施中です。（12/21まで）
スマホやPCで気軽に参加でき、防災知識も学べます。
ぜひ、「東京都防災模試」で検索してみてください！

記事編集 発行
港南防災ネットワーク
会長 飯塚 則男